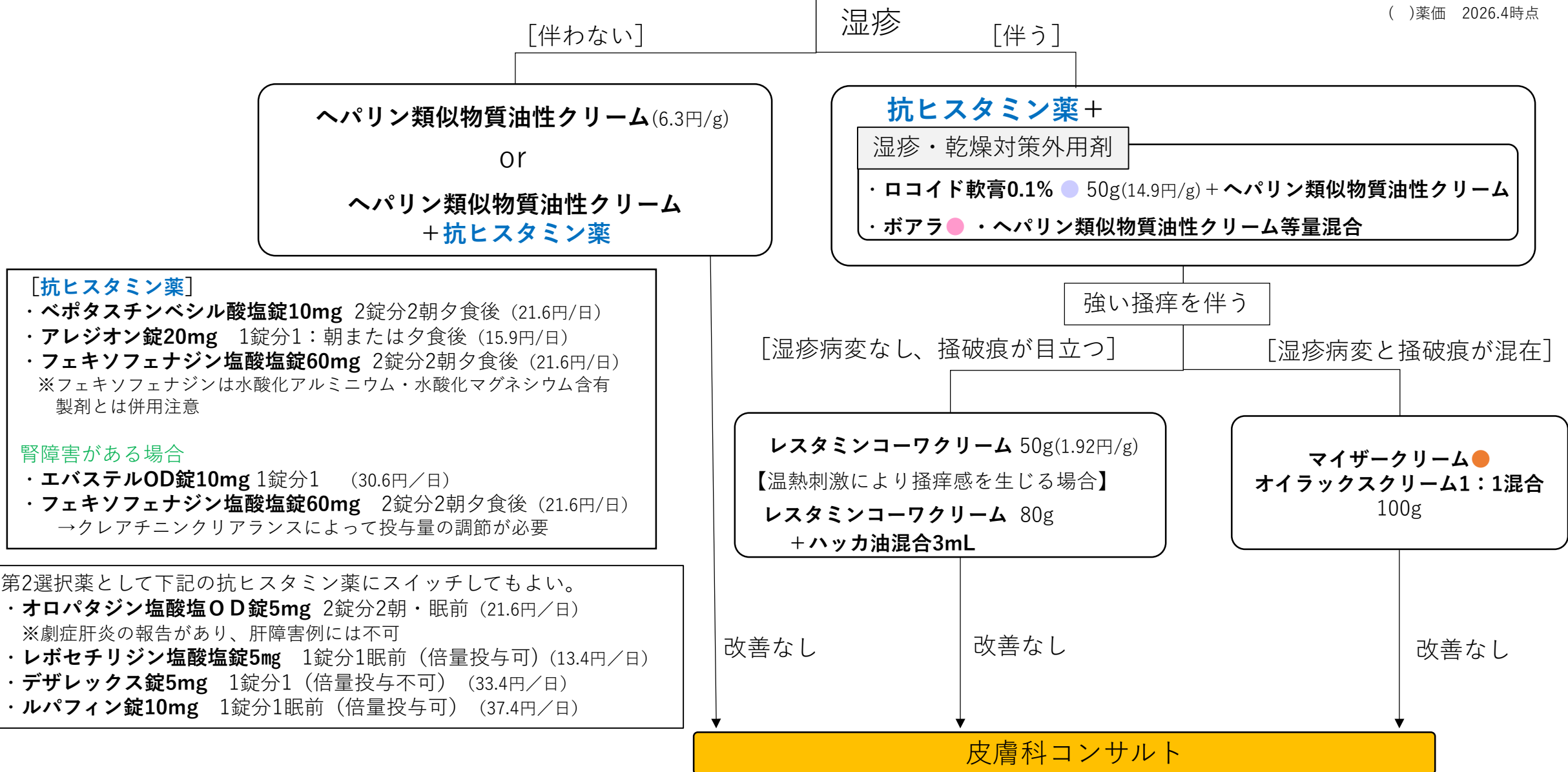


皮膚そう痒症

監修 皮膚科 鷺尾 健医長
初版作成 薬剤部 堀 勇太
2026.4改訂

()薬価 2026.4時点



※改善なし：2週間～1ヶ月だが、それ以内でもいつでも皮膚科相談可

全身の皮疹

※アトピー性皮膚炎の場合は、原則皮膚科コンサルトとする。

乳幼児

- ・メサデルム軟膏0.1% ● 100g 1日1回or 2回 (9.2円/g)
- ・ボアラ軟膏0.12% ● 100g 1日1回or 2回 (9.1円/g)
- ・デルモゾールDP軟膏0.064% ● 100g 1日1回 or 2回 (8.3円/g)

- ・メサデルム軟膏0.1% ● 50g 1日1回or 2回 (9.2円/g)
- ・ロコイド軟膏0.1% ● 50g 1日2回 (14.9円/g)

※原則Very Strongクラスの使用を控える

改善なし

- ・ジフルプレドナート軟膏0.05% ● 100g1日2回 (13.0円/g)
- ・クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏0.05% ● 100g 1日1回 (11.7円/g)

改善なし

改善なし

皮膚科コンサルト

当院採用ステロイド外用剤の強さ一覧

ランク	一般名	商品名
Strongest (最も強い)	クロベタゾールプロピオン酸エステル	デルモベート軟膏
	ジフロラゾン酢酸エステル	ダイアコート軟膏
Very Strong (非常に強い)	ジフルプレドナート	マイザー軟膏
	ベタメタゾン酪酸エステル プロピオン酸エステル	アンテベート軟膏
	ベタメタゾンジプロピオン酸エステル	デルモゾールDP軟膏
Strong (強い)	プロピオン酸デキサメタゾン	メサデルム軟膏
	デキサメタゾン吉草酸エステル	ボアラ軟膏
Medium (中間)	アルクロメタゾン プロピオン酸エステル	アルメタ軟膏
	ヒドロコルチゾン酪酸エステル	ロコイド軟膏

補足)

- ◆ 皮膚乾燥が顕著な場合はヘパリン類似物質含有軟膏と1:1混合を用いてもよい。
- ◆ プロアクティブ療法として、ステロイドを塗らない日に保湿剤を外用してもよい。
- ◆ ステロイド外用の範囲が広範囲にわたることより、大量に外用する場合はStrongクラスのステロイド外用薬を推奨するが、重症度に応じてVery Strongクラスを用いてもよい。
- ◆ Strongクラス以上のランクでは1日1回と2回外用の効果に有意差はないとするランダム化比較試験がある。

接触皮膚炎

- ・ジフルプレドナート軟膏0.05% ● 10g 1日2回 (13.0円/g)
- ・デルモゾールDP軟膏0.064% ● 10g 1日2回 (8.3円/g)

改善なし

- ・クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏0.05% ● 10g 1日2回 (11.7円/g)
- ・ダイアコート軟膏0.05% 10g ● 1日2回 (10.8円/g)

※ステロイド内服は重症例に限るため、原則皮膚科コンサルトとする。

顔面の皮疹

軽度

ロコイド軟膏0.1% ● 10g
(14.9円/g) 1日1~2回 顔

アトピー性皮膚炎による顔面の皮疹

顔面に強い炎症を伴う

皮膚科コンサルト

カンジダ性間擦疹

ニゾラルクリーム2% 10g 1日1回 (14.5円/g)

治療抵抗性の場合、
びらん面が広範囲の場合

ルリコナゾール軟膏1%
1日1回 (14.9円/g)

or

皮膚科コンサルト

足白癬

基本的には近医皮膚科外来受診を推奨
院内で必要の場合

テルビナフィン塩酸塩クリーム1%
10g 1日1回 (10.8円/g)

治療抵抗性の場合、
びらん面が広範囲の場合

ルリコナゾール軟膏1%
1日1回 (14.9円/g)

or

皮膚科コンサルト

※湿疹を伴い広範囲の場合は必ず皮膚科にコンサルトする。